

学びの庭

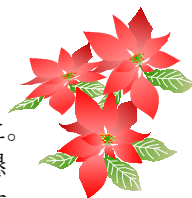


第10号

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

文責 校長 岩下清彦

冬の寒さに負けることなく



各地から雪の便りが届く季節となり、校庭から見える山々もすっかり冬の装いになりました。早いもので今年も残すところ1か月、2学期もまとめの時期になりました。明日からの個別懇談も子どもたちのよりよい成長に向けた有意義な時間となりますよう、よろしくお祈りします。

子どもたちは冬の寒さなどものともせず、休み時間には校庭で元気に遊んでいますが、インフルエンザや風邪の流行が心配になる季節になりました。学校では、うがい・手洗いの励行、「早寝、早起き、朝ごはん」や規則正しい生活の呼びかけなどで健康管理に努めるよう指導しています。本格的な寒さはこれからとなります。子どもたちが健康で楽しい学校生活が送れますよう、ご家庭のご理解、ご協力をよろしくお祈りします。

仲よく楽しめた「フェスティバル たまもろ 2018」

「玉諸っ子の笑顔・希望 集まれーっ！ ～すばらしい祭りで KIZUNA を深めよう～」のテーマのもと、11月17日（土）に「フェスティバル たまもろ 2018」を開催しました。これは、児童会を中心として、自分たちの力で大きな祭りを計画し実践する過程を通して、児童の自主性・創造性を高め、責任感や協力する態度を養うこと、縦割り活動を通して異学年間の子ども同士の友好を深めることを目的に行うものです。また、集団としての共同作業を通して、学校生活に変化を与え、学校生活をより豊かで楽しいものにするとともに、保護者の皆様にも呼びかけ、縦割り活動を理解していただく場ともしています。



プラバン作りのお店

当日は、「わくわく広場」と題して、縦割り班ごとに工夫して作った的当て、



手探りで物を当てるお店



決められた重さを量るお店

缶積み、パッチンガエル、もぐらたたき、障害物競走など24のお店をお互いに巡り、各会場からは子どもたちの大きな歓声が上がっていました。上級生は下級生の面倒をよく見て、下級生は上級生の言うことをよく聞いて、異年齢集団で仲よく、楽しく活動することができました。

多くの保護者の皆様、地域の皆様にご参加いただき、また、子どもたちに温かい励ましの言葉をいただき、ありがとうございました。

三枝亭二郎さんの教育講演会を開催



11月26日（月）に、PTA教育講演会が開催されました。今年度から、これまで学校行事として行っていた福祉集会と併せての実施となりました。講師には、アニメ「遊戯王」や「ドラえもん」の声優、VF甲府スタジアムDJなどで活躍する落語家の三枝亭二郎さんをお招きし、落語に関するお話と創作落語で子どもたちが伝統芸能について学ぶことができました。

落語の歴史や現状についての説明のほか、座布団の置き方や手拭い、扇子の使い方、羽織、袴の役割などのお話の後、低学年には「新作桃太郎」、高学年には「シルバークエーデンベル」という演目の創作落語を披露していただき、会場は大きな笑いに包まれました。伝統文化を伝えることの大切さとともに、個性を生かすことや、お年寄りをいたわることの大切さなどを伝えていただきました。



人権移動教室

6年生が人権について学習しました

11月1日（木）に、国連NGO横浜国際人権センター会長の杉藤旬亮さんをお招きして、6年生を対象に、一人一人が持っている人権の大切さについて学ぶことを目的として「人権移動教室」を行いました。

国境なき医師団の活動をまとめた映像資料も使いながら、杉藤さんから人権について分かりやすく説明していただきました。人権とは、「命と幸せを守るための権利」で、人権を尊重するには、「自分を大切にするように人を大切にする」「言葉として知っているだけでなく、実行することが大切」などのお話がありました。6年生は真剣な表情で聞き入っていました。



地区文化祭で3年生が息の合った合唱・合奏を披露



11月25日（日）に本校体育館を会場に開催された玉諸地区文化祭には、児童を代表して3年生が参加し、合唱・合奏を地域の方々に披露しました。まず、リコーダーで「パフ」を合奏し、次に「ありがとうの花」を合唱しました。息の合ったきれいな音色の発表に、会場を訪れた地域の方々や保護者の皆様から大きな拍手をいただきました。

また、会場には、各学年代表児童の絵画や習字作品を展示していただきました。そのほか、地区の合唱団など、地域で活動する本校児童の発表もありました。

読書活動を推進しています



本校では言語活動の充実に向けて、読書の習慣を身に付けさせ、自ら進んで読書をしようとする意欲を高め、豊かな感性を育てることができるよう、読書活動を推進しています。具体的には、年間を通して朝読書、ボランティアによる読み聞かせを行うとともに、読書週間に合わせて「玉諸小読書まつり」を開催するなど、本に親しむ様々な機会を設けています。ご家庭でも親子で一緒に本を読むなどの機会をぜひ作ってください。



「先生のおすすめの本」の掲示

玉諸小読書まつり2018 開催

今年度は、10月29日～11月7日の8日間、図書委員会が企画・運営の中心になって「玉諸小読書まつり 2018」を開催しました。本の楽しさを伝え、本に親しめるような企画を行い、図書室の利用と読書の機会を増やすことをねらいとして行いました。

全校での取り組みとして、朝読書、読書ビンゴ、多読賞の表彰などを行い、図書委員会の取り組みとしては、おすすめの本の掲示、大型絵本の読み聞かせ、図書館クイズなどを行いました。今後も、読書に親しんでほしいと願っています。



図書委員による読み聞かせ

ボランティアによる読み聞かせ

朝読書の時間には、ボランティアによる読み聞かせの活動を行っています。保護者の皆様を中心に40名ほどの方々が協力してくださっています。今年度は低学年に9回、高学年とすみれ学級に10回の合わせて19回の予定で実施しています。

各学級では、ボランティアの方々から絵本などを使って読み聞かせをしていただき、目を輝かせながら真剣に聞き入る子どもたちの姿が見られます。本校の読書活動の推進のためにご支援いただいています。

